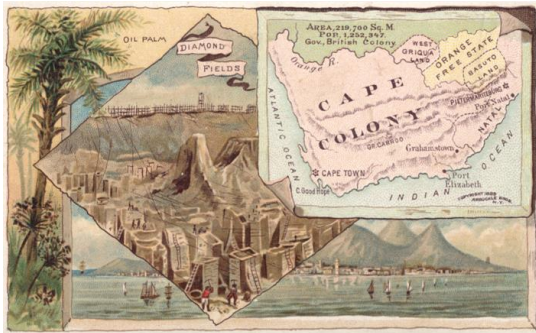


■ 南アフリカの植民地時代を照らす 14 万点の史料

英国のケープ植民地およびバストランド統治 Colonial Rule in the Cape of Good Hope and Basutoland, 1854-1910

19 世紀後半のケープ植民地における統治の複雑な実態について

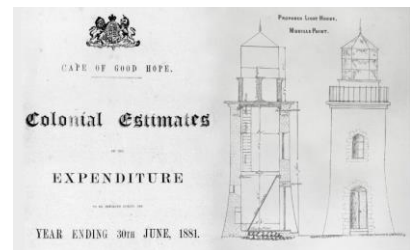


本コレクションは、南アフリカにおける英国植民地支配の 50 年以上にわたる歴史を記録した、14 万点以上の画像を含むコレクションです。ケープ植民地は、1652 年にオランダ東インド会社によって開拓されましたが、1806 年にイギリスの支配下に入り、1910 年には、新たに成立した南アフリカ連邦の一州となりました。英国は 1853 年にこの植民地に議会を選出する権利を与え、1872 年には完全な自治権を確立しました。19 世紀には商業の中心地として発展し、1860 年代にダイヤモンドと金が発見されたことで、アフリカにおける最も重要で繁栄した英国植民地となりました。本コレクションは、

1854 年から南アフリカ連邦成立に至るまでのケープ植民地の統治を追っています。

また、本コレクションには、英領カフラリアやバストランド（現在のレソト）に関する資料も含まれています。バストランドはケープ、ナタール、オレンジ川植民地に囲まれた王領植民地でした。カフラリアは 1865 年にケープの統治下に置かれ、バストランドも 1871 年に同様の扱いとなりました。本コレクションには、これらの地域に関する年次報告書や立法報告書、布告、現地の支配者との書簡、反乱に関する報告書などの貴重な記録が収められています。

本コレクションは、地域における立憲政治の発展やインフラ整備などの重要な歴史的潮流を示しています。また、鉱業や綿花・ダチョウの羽・ワイン生産といった主要産業の成長についても記録されています。ロベン島の利用に関する記録、植民地の教育制度の発展に関する報告書、道路や鉄道の建設に関する情報、さらには 1895 年のジェームソン急襲（失敗に終わった侵攻計画）に関する資料なども含まれています。ケープ植民地は白人入植者の少数支配のもとに置かれていましたが、アフリカの文化や社会についての貴重な記録もあり、植民地支配に対する抵抗の例も見られます。



大学・学術機関向け価格

FTE (学生数+教職員数)	3,000~4,999	5,000~9,999	10,000~19,999	20,000~29,999	30,001 以上
Archive 買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください				

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの **年間管理費 (Annual Hosting Fee)** は不要です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

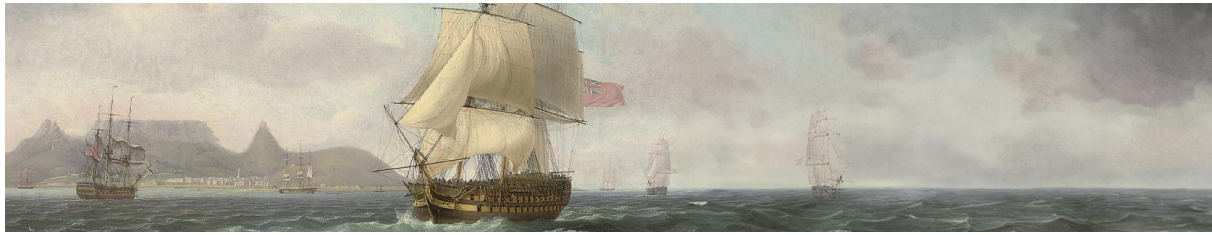
〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

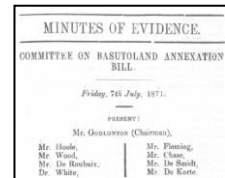
E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp





ケープ植民地の拡張とその抵抗

1853年、英国政府はケープ植民地に自治権を付与しました。その後、英国は隣接する領土を次々と併合し、ケープ植民地の統治下に移しました。たとえば、バストランド（現レソト）は1868年に併合され、1871年にはケープ議会の管轄下に置かれました。しかし、この過程では地元の反発が強く、特にバスト人は武装解除の試みに激しく抵抗しました。その結果、1884年にケープ議会はバストランドの支配権を英国本国に戻す決定を下しました。本コレクションでは、このような拡張政策とそれに対する現地の抵抗の様子を詳細に追うことができます。



インフラの発展

本コレクションには、ケープ植民地におけるインフラ整備の詳細な記録が含まれています。政府の報告書には、学校、刑務所、病院、博物館、植民地の公文書館など、国家機関の発展が記録されています。また、公共事業局の主任検査官が作成した報告書には、灌漑・森林開発計画、三角測量、橋、港湾、灯台、道路、鉄道の建設に関する情報が含まれています。さらには、道路幅の検討、郵便局の金庫購入に関する会計記録、政府庁舎周辺の植樹計画といった細かな内容まで記録されています。

多様な人口構成と移民ネットワーク

19世紀のケープ植民地は、多様な民族が共存する英国最大のアフリカ植民地でした。本コレクションには、その人口動態の変化が記録されています。内部移住のパターンを追跡できるほか、移民委員会の報告書にはケープ植民地が大英帝国の移民ネットワークの中で果たした役割が示されています。また、出生・死亡の年間登録簿からも人口統計が得られます。さらに、学校、病院、刑務所の管理者や監査官による報告書には、民族、宗教、識字率、健康状態に関するデータが含まれています。

ロベン島の使用と管理

本コレクションには、ロベン島の利用と管理に関する報告書も収められています。オランダ統治時代から、政治犯の収容施設として使われていましたが、英国統治下でも同様に利用され、アパルトヘイト廃止の1996年まで続きました。1850年代には、ロベン島はハンセン病患者の隔離施設にもなり、強制収容された人々は過酷な環境のもとで放置されました。また、天然痘などの流行病の際には検疫所としても使用されました。その後、精神疾患のある人々を収容する精神病院も設立されました。19世紀におけるロベン島の用途は、ヴィクトリア朝時代の植民地的価値観が、精神障害者や身体障害者、さらにはイギリス帝国に異を唱えた者たちをどのように扱っていたかを浮き彫りにしています。

植民地的価値観と現地の抵抗

Blue Books on Native Affairsのような資料は、植民地行政官が「文明」「進歩」「近代化」およびプロテスタント主義といった理念を受け入れ、自信に満ちた植民地的思考を持っていたことを示しています。しかし、本コレクションは、そうしたイギリスの視点だけでなく、アフリカの文化やコミュニティの実態にも迫ります。白人入植者の視点を通して記録されているものの、先住民が植民地支配にどのように対応し、時にはそれに抵抗したかを知ることができます。



■年別に全 56 パートに整理されたアーカイブ

1854年から1910年にかけてのケープ植民地およびバストランドにおける英国植民地統治に関する報告書、書簡、議事録、その他の文書が収録されています。なお、1860年の文書は収録されていません。

British Online Archives の詳細お問い合わせは弊社まで



日本総代理店 **極東書店**

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp